

# 名古屋経済

## 名工研の工業技術グランプリ

### シードが市長賞

名古屋市工業研究所なる開発を促進しようは二十日、名古屋市熱田区六番三の同研究所で「平成二十年度名古屋市工業技術グランプリ」の表彰式と受賞事例発表会を開催した。

優れた新技術・新製品を開発した中小企業を評価し、さらなる開発を促進しようというもので、今回が十三回目。金属箔プリンターを開発したシード(名古屋市)に市長賞が、一個流しなどが可能な冷間鍛造用小型自動潤滑剤塗布装置の協和工業(大府市)と、パーツロボのタイムオー

トマシン(関市)に、研究所長賞が贈られた。そのほかの受賞は次の通り。

名古屋市工業技術振興協会会長賞、奥田電気工業(名古屋市、非常用電源装置)、R&Dソフトウエア(同、システム開発技術者向け

帳票開発支援ツール)、60度生爪)、タクト



金属箔プリンターを開発したシードに市長賞

▽同奨励賞  
SPF

(名古屋

市、ユニッ

トヒータ

ー)、森ト

ク運輸(同、

キャップ式

コイル転倒

防止装置)、

タカハシテ

クニア(同、

タクト

(春日井市、アンケー

ト収集システム)